

白山市立光野中学校 令和7年度 前期 学校評価【重点項目】

「前向きな姿勢、明るい笑顔で過ごせる学校づくり」 ～つながり、関わり合い、学び合いを大切に～

目標	具体的な取組	評価項目	対象	R6後期		R7前期		分析・今後に向けて
				平均値	評価	平均値	評価	
心生し徒てが学喜びん合でえ登る校学校し、笑顔で安	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回程度の学校生活に関するアンケートを実施し、生徒の困りごとや不安に対して即時対応する。 ・生徒が主体となって委員会活動や行事をつくりあげ、達成感をもてる活動にする。 ・生徒指導主任を中心に、学年や学校全体で連携し、担任が一人で学級経営の悩みを抱え込まない組織をつくる。 	学校は楽しい	生徒	3.4	B	3.5	A	・引き続きアンケート内容の気になるものに対して即時対応する。
		お子さんは、学校を楽しいと思っている	保護者	3.3	B	3.3	B	・月一回程度の自主自立集会における生徒発信の場や、あいさつでより明るい学校をつくろうとする生徒会の取組をより支援していく。
		子どもたちは、学校で楽しく過ごしている	教職員	3.2	B	3.4	B	・生徒のつぶやきや雑談の中からも生徒同士の関係性や気になる情報に対するアンテナを張り、学年で共有及び相談をする。
		いじめられたり、無視されたりすることなく、安心して過ごしている	生徒	3.7	A	3.7	A	・生徒のつぶやきや雑談の中からも生徒同士の関係性や気になる情報に対するアンテナを張り、学年で共有及び相談をする。
		お子さんは、いじめられたり、無視されたりすることなく、安心して過ごしている	保護者	3.5	A	3.5	A	・生徒のつぶやきや雑談の中からも生徒同士の関係性や気になる情報に対するアンテナを張り、学年で共有及び相談をする。
		生徒たちは、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている	教職員	3.2	B	3.3	B	・生徒のつぶやきや雑談の中からも生徒同士の関係性や気になる情報に対するアンテナを張り、学年で共有及び相談をする。
伸びば徒し、一で入りかけとりり学校の力をしつかり	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にした授業づくりを進め、基礎基本の定着を実感できる取組で達成感を持たせる。 ・話し合う場や友達と関わり合って学ぶ機会を意図的に設定する授業づくりをする。 ・望ましい家庭学習のノートを紹介したり、達成感を持たせられる小テストを実施したりする。 	授業は分かりやすい	生徒	3.3	B	3.5	A	・授業のわかりやすさに関して、生徒の評価が0.2p上昇した。生徒のつまずきをそのままにせず、引き続き教材研究に取り組んでいきたい。
		お子さんは、授業が分かりやすいと思っている	保護者	2.9	C	2.9	C	・評価テスト前を除く家庭学習時間を調査し、各学年ごとに分析を行っている。
		ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている	教職員	3.2	B	3.3	B	・評価テスト前を除く家庭学習時間を調査し、各学年ごとに分析を行っている。
		家では毎日1時間以上、学習している	生徒	3.0	B	3.0	B	・評価テスト前を除く家庭学習時間を調査し、各学年ごとに分析を行っている。
		お子さんには、家庭学習の習慣が身についてきている	保護者	2.6	C	2.6	C	・引き続き、家庭学習の習慣が定着し、より質の高い時間が増加するように呼びかけを行っていく。
		生徒たちに家庭学習について具体的に指導している	教職員	3.4	B	3.2	B	・評価テスト前を除く家庭学習時間を調査し、各学年ごとに分析を行っている。
や明地る域くか活ら力信が頼あさりれる保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や行事等の様子をHPにて閲覧できるようにする。また、その頻度を高める。 ・発信する情報の媒体を使い分け、家庭で学校の話題が出来るように努める。 ・キャリア教育や進路に関する学習及び取組は保護者にも積極的に発信し、一緒に考える機会を設定する。 	学校での学習の様子や出来事についてよく話をする	生徒	3.0	B	3.2	B	・HP更新頻度や配信アプリによる情報発信は年々増加している。
		お子さんと学校の話をしている	保護者	3.2	B	3.2	B	・昨年度に引き続き職場体験を実施させていただいた。それによる評価値の増加はあると思われる。体験して終わり、ではなく、この経験が今後のキャリア形成につながるようにカリキュラムに位置づける。
		学校の様子を、各種おたよりやメール配信を通して家庭に伝えている	教職員	3.1	B	3.1	B	・今後の職場体験を実施するにあたり、地域や家庭の協力を得られる仕組みをつくる。
		将来の夢や目標を持っている	生徒	2.9	C	3.1	B	・今後の職場体験を実施するにあたり、地域や家庭の協力を得られる仕組みをつくる。
		お子さんは、将来の夢や目標を持っている	保護者	2.6	C	2.6	C	・今後の職場体験を実施するにあたり、地域や家庭の協力を得られる仕組みをつくる。
		生徒たちが将来の夢や目標を持てるように指導している	教職員	3.2	B	3.2	B	・今後の職場体験を実施するにあたり、地域や家庭の協力を得られる仕組みをつくる。
働き方	働き方改革を意識し、効率的な業務改善に努めている。	自らの心身共に健康を保ち、時間のつかい方を工夫するなどして、業務改善を図っている	教職員	3.3	B	2.9	C	・大幅にポイント低下した。日課を調整し、業務が過渡にならないように工夫しているが、不十分と見られる。業務の偏りやスリム化に取り組んでいきたい。

評価について…評価値の平均値 3.5以上をA、3.5未満～3.0以上をB、3.0未満をCとした。